



蒲郡文化

No.201

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

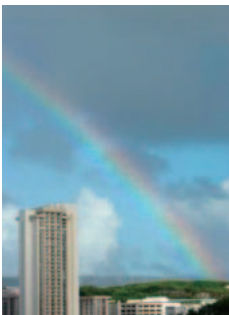
知るは楽しみなり

蒲郡市生命の海科学館
館長 山中 敦子



長雨は憂鬱なものです。雨の日ならではの楽しみもあります。先日、雨後の晴れ間に見上げた空に、七色の虹が架かっていました。魅入られて見つめるうちに、つい薄れて空に溶けてしまうそのはかなさも、虹の魅力の一つではないでしょうか。

虹の七色は、もともと日光の中に含まれているものです。絵の具の場合は多くの色を混ぜると黒くなってしまいますが、さまざまな色の光を重ね合わせると、ちゃんと太陽の光の色、つまり透明になっていきます。無色の光をガラスのプリズムを通して虹を作り出し、太陽から降りそそぐ光が実はさまざまな色の重ね合わせでできていることを見出したのは、17世紀に活躍した物理学者のニュートンでした。水の波だけでなく光にも屈折という現象が起こること、色によって屈折の角度が異なることなど、ニュートンは色と光について様々な発見をもたらしました。しかしこれらの成果は、後の時代の一部の詩人たちから、「科学が虹の詩性を破壊した」と非難されてしまいます。自然を観察し、実験し、しくみを解き明かす「科学」という行為が、芸術や文化と対峙する無粋なものと捉えられたのでしょうか。科学に対するこのような見方は、残念ながら



現在も少なくないように思います。ですが、虹の美しさを思うたび、自然の美と向き合うときに「科学の目」を閉じてしまうのは、少々もったいない気がします。

私たちは、光で物を見ています。真っ赤な苺は、表面の色素が赤い光を選択してはね返すので、赤く見えます。葉や草は、光合成に使われない緑色の光だけをばね返すので、緑色をしています。自然の色には意味があり、その色を生みだすしくみがあります。無色の光に無限の色が込められているからこそ、私たちは鮮やかな世界に生き、光が波であるからこそ、自然の要素を知ることができるのです。虹には、このような世界のなりたちの一端を示すしくみが凝縮されており、その奥深さを知ること、虹の美しさがさらに深みを増すように思います。虹の七色も、足もとの石ころの模様も、夜空を彩る星の煌めきも、そのしくみやなりたちを知ることと生まれる感動と美があるのだと、私たちに教えてくれているような気がします。

生命の海科学館では、隕石や化石などの展示を通じて、地球と海と生命の歴史を皆様にご紹介しています。新しい知識を得る楽しさには、大人も子供もありません。科学館を訪れる子どもたちは、目をキラキラ輝かせながら、初めて出会うクビナガリュウの化石や宇宙から来た隕石に、歓声を上げています。一方で、知識を積み重ねてきた大人だからこそ、億年という時間の重みや地球の大きさ、生物のほかなさを、より深く感じる事ができるようにも思います。科学が解き明かしてきた地球の歴史のなかに、身近な自然から新たな美と感動を受け取るヒントが、きつと隠れています。皆さまのご来館を、科学館にてお待ちしております。



文化事業

名古屋室内管弦楽団

「映画音楽&歌声喫茶」

二月二十八日(日)大ホールにて、名古屋室内管弦楽団による「映画音楽&歌声喫茶」が開かれた。当日はお天気にも恵まれ、多くの方々が早くから並ばれ、千人近くの観客をお迎えしてのステージとなった。

第一部は、田中瑞穂氏の指揮による映画音楽。「ある愛の詩」からはじまり、「エデンの東」、「パピヨン」と昭和五〇年代から七〇年代にかけての映画音楽が演奏され、「太陽がいつぱい」で締め括られた。「ニーノ・ロータ」、「ヘンリー・マンシーニ」、「グレン・ミラー」の音色と共にソフィア・ローレン、アラン・ドロン、ステイプ・マッククイーンとなつかしい俳優の顔が浮かび、若き日を思い返して懐かしい時間となった。

第二部は、「歌声喫茶」ということで

ソングリーダーの坂井俊雄さんと栗田さかゑさんと共に「みかんの花咲く丘」、「高校三年生」、「青い山脈」などなつかしい曲を歌詞カードを見ながら、最初は小さな声でしたが、坂井さんが客席において回られたり、また、客席から十人ほど舞台上が上がってオーケストラをバックに青春時代を熱唱し、舞台と客席が一体となり、アンコールでみんなと「ふるさと」を唱っておわりとなった。



文協事業のご案内

文協講座

「舞踊教室」

日時 7月7日～28日
毎木曜日
全4回 18時～20時
会場 三谷公民館
講師 西川佳久
参加費 五百円(4回分)
申込〆切 6月27日(月)
・・・・・・・・・・・・・・・・

「三味線教室」

日時 7月21日(木)
8月4日(木)
8月18日(木)
8月25日(木)
全4回 13時半～15時半
会場 市民会館
講師 杵屋和三園
参加費 千円(4回分)
申込〆切 7月6日(水)
・・・・・・・・・・・・・・・・

「陶芸教室」

日時 8月24日(水)
8月31日(水)
9月14日(水)

9月28日(水)
全4回 13時半～15時半
会場 市民会館

講師 市川勝代
参加費 千五百円(4回分)
申込〆切 8月8日(月)

「水石教室」

日時 9月4日(日)
9月11日(日)
9月18日(日)
11月20日(日)
全4回 10時～12時
会場 市民会館
講師 井澤敏雄
参加費 五百円(4回分)
申込〆切 8月19日(金)
・・・・・・・・・・・・・・・・

「書道教室」

日時 11月7日～28日
毎月曜日
全4回 10時～11時半
会場 市民会館

講師 藤田芳子
参加費 六百円(4回分)
申込〆切 10月12日(水)

文化の継承

謡曲部会 平田正文

文化の継承は、この国で育った文化をさらに発展させ次世代に受け渡してゆくことなのですが、ただそのままの形の上だけで伝えてゆくのでは衰退してしまうのではないのでしょうか。

現在に生きている私たち自身にとって、何らかの糧となったり、心の琴線に触れたりすることが肝要で、それがそこそこ多くの人々によって支持されてゆかなくてはならないのです。

高度成長期の終わる頃から次第に高まってきた風潮として、若い人々の間では学校の伝統的な部活動よりも、しがらみの少ない同好会活動へのシフトが進み、好みの細分化によりそれぞれの個性の世界を重視する、いわば軽い利他的な嗜好傾向が多く見られるようになって来ました。

であるからこそ、この流れに棹差し、『より深い楽しみを得るにはより時間と努力を必要とする』という王道を肝に銘じ、心にゆとりを持って、同じ趣味を持つ人々が多く集まり、お互いの感性や技

術を高めあい、楽しむことが人生の喜びのひとつであると、多くの人に再認識していただきたいのです。

『人の一生はその人にとって一回限り。何をもってその一生に深い楽しみを得ようとするのか』、ということなのです。

素人であっても、指導を受けようとする際にはそれぞれがより良い師匠を選択して、その指導を受けようと考え、鑑賞するときはよりすぐれた演技・演奏・表現を求めることが、消極的にも積極的にも玄人への評価・選択となります。そして繰り返し繰り返し螺旋状に継続されることで、更に高いレベルの成果がもたらされます。

こうして、私たちは文化の継承の一端を担っており、私たち文化協会の活動もこのような一面を持っています。



(謡の練習の様子)

平成28年度

月例茶会

- ・鈴木 宗和(裏千家)
6月12日(日)
 - ・大場 宗由(裏千家)
7月3日(日)
 - ・中野 宗恵(表千家)
9月11日(日)
 - ・桜木 宗峯(表千家)
10月16日(日)
 - ・福井 宗苗(宗偏流)
12月11日(日)
- すべて10時～15時
一席五百円 三興庵にて

県文連事業

- 第31回国民文化祭あいち2016
・愛知県民茶会
11月13日(日)
岡崎中央総合公園
- ・第41回愛知県文連美術展
11月15日(火)～20日(日)
愛知県美術館
- ・東三河部芸能大会
11月27日(日)
田原文化会館

市民会館 ギャラリー展示

- ・俳句部会
8月27日～9月22日
- ・短歌・水石部会
10月22日～11月24日
- ・県文連美術展入選作品
1月7日～2月2日
- ・水墨画部会
2月4日～3月9日

蒲郡市文化協会総会

- 日時 4月23日(土)
13時半～
- 会場 市民会館東ホール

特別会員募集

文化協会の趣旨にご賛同下さる個人・法人の方々にお願い申し上げます。
* 一〇五千元(〇数に制限はありません)

春の文協まつりご案内

市 民 会 館

(共催) 蒲郡俊成短歌大会

4月29日(祝) (中ホール)
13時～16時

書道・工芸展 (東ホール)

5月20日(金)～22日(日)
10時～17時

俳句会 (大会議室)

5月21日(土)
13時～15時30分

菊花研究会 (中会議室)

5月22日(日)
13時30分～

ふれあい茶会 (2F会議室)

5月22日(日)
10時～15時

華道展 (東ホール)

5月28日(土)・29日(日)
9時30分～17時

盆栽・皐月展 (大会議室)

5月28日(土)・29日(日)
9時30分～17時

水石展 (中会議室)

5月28日(土)・29日(日)
9時30分～17時

芸能発表会 (中ホール)

5月29日(日)
10時～17時

博 物 館 ギ ャ ラ リ ー

10時～17時(最終日は16時まで)

絵画展

5月13日(金)～15日(日)

写真展

5月20日(金)～22日(日)

水墨画展

5月27日(金)～29日(日)

お 知 ら せ

図 書 館 の 催 し 物 (問合せ TEL69-3706)

「子ども読書の日」記念 おたのしみ会	4月24日(日) 14時～15時30分
ほっこりあったか絵手紙展	4月24日(日)～5月8日(日) (最終日は16時まで)
春の絵てがみ教室	5月 8日(日) 13時30分～15時30分
楽墨会小品展	5月11日(火)～29日(日) (最終日は16時まで)
第58回水道週間ポスター展	6月 1日(火)～7日(火)
初めての彩墨画教室(全3回)	6月 4日～18日毎土 13時30分～15時30分
平成28年度 教科書展示会	6月11日(土)～7月5日(火)
ひとり読み語りしばい「父と暮せば」	6月19日(日) 13時30分～15時
アルミホイルが大変身! 箔屋スフィカの世界展	7月12日(火)～24日(日)

博 物 館 の 催 し 物 (問合せ TEL68-1881)

竹悠作品展	6月 3日(金)～ 5日(日)
第11回墨心書展	6月11日(土)・12日(日)
SL写生大会作品展	6月18日(土) 13時～26日(日)
第6回墨彩画合同展	7月 8日(金)～10日(日)

そ の 他 の 会 場 (問合せ TEL68-5509)

《フレンドギャラリーたか》	第8回楽寿会墨彩画展	4月12日(火)～17日(日)
《豊川市桜ヶ丘ミュージアム》	竹風会水墨画展	5月 3日(火)～ 8日(日)